



広島和牛 News

北海道全共まで
862 日



令和 7 年 4 月 16 日発行 No.89

➤ 和牛施策の紹介 ～ 今年度の県の主要事業等のお知らせ ～

令和 7 年度、県の和牛生産等に関する重点推進事項を紹介し、積極的な情報収集と事業の有効活用により、経営発展を目指しましょう。

広島県重点推進事項

「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を目指し、ひろしまブランドに貢献する広島和牛のブランド化の推進と生産性を高めた持続性の高い企業経営体の確保・育成に取り組めます。

持続可能な広島和牛生産体制の構築

○ 本県の独自性を活かした付加価値向上の取組による広島和牛ブランドの強化

- ・比婆牛がひろしまブランドに貢献する食の代表の一つとなるため、令和 3 年度に策定したブランド戦略及びこれまでの取組成果や波及効果に基づき、引き続き高級料理店での定期提供と、料理人や生産者等の仲間づくりを進めるとともに、食味分析等を通じて新たな価値要素の探究を実施します。
- ・ブランドイメージを醸成して需要を創出するため、メディアを通じた県内外での情報発信を実施します。
- ・消費地に着目した円滑な食肉流通に関する課題解決に取り組めます。



○ 経営力向上による持続性の高い企業経営体の育成

- ・事業承継・人材育成などの共通課題解決に向けた研修会、視察等を通じて課題解決を支援します。
- ・畜産 G A P・H A C C P などの考え方による生産工程管理の導入を進め、研修会等を通じ、先進経営体の事例を共有する等、経営力強化の推進に取り組めます。
- ・スマート農業について、畜産経営体へのモデル波及を推進します

○ 生産基盤強化による広島和牛生産体制の構築

- ・比婆牛や神石牛などの地域の取組を進め、広島血統和牛の交配推進と雌子牛の保留を促進します。
- ・畜産クラスター計画等に基づく事業等を活用した生産基盤の強化・拡大を図ります。
- ・広島血統和牛の生産頭数の拡大を図るための新たな供給協定の取組及び種雄牛造成を推進します。

➤ 北海道全共への道！③ ～概要紹介～

不定期連載「北海道全共への道」も第 3 回を迎えましたが、今回は、“そもそも全共ってどんなもの？”という、全体の概要を紹介します。

生産者の皆様は既に十分ご存じの事と思いますが、実はこの広島和牛ニュース、生産者や関係団体の皆様のみではなく、飲食店やメディア関係等、幅広いジャンルの方々にもお届けしています。普段あまり生産現場に馴染みのない方々に、少しでも全共を身近に感じていただけるよう、まずは基本の部分からお伝えします！

全共とは、「全国和牛能力共進会」の略称で、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。全国和牛登録協会が主催し、和牛日本一を決めるために、5 年に 1 度開催される、国内最大の和牛の祭典です。会場は、第 1 回（昭和 41 年）の岡山県に始まり、全国持ち回りで開催されており、第 13 回はタイトルのとおり北海道に決定しています。

牛の体型など改良の成果を評価する、第 1 ～ 6 区（6 区は肉質の評価もあり）の「種牛の部」と、枝肉の肉質などを評価する、第 7 区及び第 8 区の「肉牛の部」からなり、前回の第 12 回大会からは、特別区として「高校及び農業大学の部」が設けられました。（右表参照）

次号からは、各区の詳細や県の取組方針についてお伝えしていく予定です。

第 13 回全国和牛能力共進会 出品区分一覧

	出品区		生後月齢等
種牛の部	第 1 区	若雄	15～23か月未満
	第 2 区	若雌の 1	14～17か月未満
	第 3 区	若雌の 2	17～20か月未満
	第 4 区	繁殖雌牛群	3 産以上
	第 5 区	高等登録群	14か月以上
	第 6 区	総合評価群	種牛群：17～24か月未満 肉牛群：24か月未満
肉牛の部	第 7 区	脂肪の質評価群	24か月未満
	第 8 区	去勢肥育群	24か月未満
高校及び 農業大学の部	特別区	高校及び農業大学校	14～20か月未満



（写真）前回大会の会場の様子。カーブコラボの赤いユニフォームが目立っています！

➤ 比婆牛レトルトカレーがお披露目されました



令和7年3月19日（水）、広島新駅ビル「minamoa（ミナモア）」3階の「miobyDoTS（ミオバイドッツ）」にて、広島和牛ニュース86号でもお伝えした「比婆牛ブランド共創プロジェクト」採択商品の完成お披露目イベントが開催されました。

当日は、流通に課題がある部位を活用した“お土産商品部門”でグランプリを受賞した avenir town MIRAINO-MACHI・水橋聡シェフによって、比婆牛レトルトカレーがふるまわれました。

Minamoa 全館のメディア内覧会にあわせて開催されたこともあって、会場には県内外のメディアやインフルエンサーが多数集まり、「スパイシーでおいしい」、「お肉の存在感がある」と大好評でした。

あわせて、“贈答品部門”でグランプリを受賞した、リュニベル・今井良シェフの「比婆牛ローストビーフ」についても完成が発表されました。どちらも、加工した際に比婆牛の美味しさが損なわれないよう、約4か月をかけて試作及び検討を重ね、ついに商品化されました。県は、今後も関係者の皆様と連携し、加工品開発やイベントの開催等を通じて広島和牛の魅力を広く発信していくこととしています。



（写真左）来場したメディアに対し、事業の説明をする広島県畜産課・小川課長。
（右）お披露目された、「幻の比婆牛カレー」（1,350円）。駅ビル開業の3月24日からは、数量限定で販売されています。

➤ 生産者の皆様へ ～国外で口蹄疫が猛威をふるっています～

日本における口蹄疫の発生は、平成22年の宮崎県以降確認されていませんが、令和7年に入って、欧州ではドイツで1件、スロバキアで6件、ハンガリーで4件、アジアでは、中国で2件、カンボジアで7件、インドネシアで26件、そしてお隣の韓国にいたっては、3月以降14件もの発生が報告されています。（4月14日現在）

流通のグローバル化により、今日、日本で口蹄疫が発生しても全く不思議ではないと言えるほど、国内に侵入するリスクは極めて高い状況となっています。

口蹄疫は、人的交流及び肉製品等の国内への持ち込みによって侵入するリスクが高いことから、次の点に注意してください。

- 1 口蹄疫等の発生地域への渡航を自粛すること
- 2 農場従業員に対し、海外から肉製品等が携帯品や国際郵便物等によって持ち込まれることのないよう注意喚起すること
- 3 看板の設置等により、衛生管理区域又は畜舎への関係者以外の立入を制限し、人、車両の入退場時には、消毒や更衣（交換前後の交差防止を含む）など、病原体侵入防止対策を徹底すること
- 4 日々の健康観察を行い、異状が見られた場合には速やかに通報すること



不安な点や疑問等がありましたら、お気軽に最寄りの家畜保健衛生所・畜産事務所に御相談ください！！

★ 広島県からのお知らせ ★ ～家畜人工授精所への立入検査が2巡目に入ります～

令和2年10月の家畜改良増殖法改正を受け、農林水産省（中国四国農政局）による家畜人工授精所への立入検査が義務化されました。広島県内では、令和4年12月中旬から本格的な立入検査を実施しています。

家畜人工授精所の協力の下、令和7年3月末時点で、全体の **78%にあたる60件**の立入検査が完了し、今年度は2巡目に入る予定です。なお、これまでの立入検査にて、口頭注意等が多かった事項は次のとおりです。今一度、ご確認をお願いします。

家畜人工授精簿

授精証明書番号は記入されていますか？
注入雌牛の情報は記入されていますか？

譲渡等記録簿等

精液を採取した年月日や、授精証明書番号は記入されていますか？

授精証明書

写しを保管していますか？
通し番号（授精証明書番号）は付いていますか？

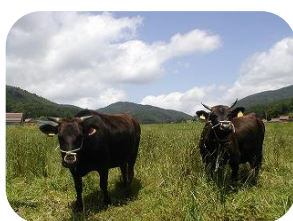
精液（受精卵）証明書

使用済のものと未使用のものが混ざっていませんか？
不受胎時の情報は記入されていますか？

「家畜を飼養・管理している皆様へ」家畜伝染病予防法に基づく定期報告書（提出期限4月15日）を提出いただきありがとうございます。

☆詳しくは、広島県ホームページにて「飼養衛生管理基準」で検索、または、管轄の畜産事務所にお問い合わせください。

Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^_^)！



右のQRコードからご覧いただけます。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です！



Instagram
~hiroshima.wagyu~



フェイスブック
~広島和牛~

広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パックナーをご覧ください。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です。



次回は、
令和7年5月28日発行予定！